



# IUFRO-J NEWS

No. 58 (1996.7) —

## ユフロ第34回理事会の報告及び第8部会 「森林環境」について

京都大学防災研究所 佐々恭二

平成8年2月23日から27日まで、オーストリア国ウィーン市とハンガリー国ソブロン市において第34回ユフロ理事会が開催され、新設の第8部会「Forest Environment」のコーディネーターとして出席させていただきましたので、理事会の概要を報告させていただきます。

### 1. 会議の出席者

今期のユフロ理事は、理事27人、拡大理事22人の合計49人です。理事の内訳は会長1、副会長2、前会長1、会計理事1、事務局理事1、8部会のコーディネーター8、地域からの代表理事9、会長指名理事4です。拡大理事は各部会の副コーディネーターとユフロ協力機関であるFAO（国連食糧農業機構）、SPDC（Special Programme for Developing Countries）からの代表などです。理事会の出席率は極めて高く、理事27人のうち欠席したのは会長指名理事（セネガル）1人だけ、拡大理事は22人のうち欠席9人でした。したがって今回の理事会は、理事・拡大理事39人とObserversが3人の合計42人の出席のもとに開かれました。

2月から3月前半は、日本の大学では学士の卒業、修士の修了、博士課程の編入学・修了・学位審査など学事と会計の両方で忙しい時期ですが、欧米では都合のいい時期のようです。しかし、それにしても出席率の高さに驚きました。日本からは私の他に、新設の第7部会「Forest Health」の副コーディネーターとして鈴木和夫先生（東大）が出席されました。なお、理事の約半数が

夫人同伴でした。

### 2. 会議の日程と概況

次に理事会の概況を時系列的に報告させていただきます。

#### 2.1 ウィーンでの開会式と農科大学でのインターネットの実演

2月22日（木）夜にウィーンのホテル（Ekazent）に集合し、登録。

2月23日（金）ホテルから専用バスでウィーン林業試験場マリアブルン（Mariabrunn）へ移動し、そこで開会式が開かれました。ウィーン林業試験場は、観光地として有名な市の中心部にあるシェンブルン宮殿と郊外にあるマリアブルンの両方に建物があります。私は1977、1980、1981、1984、1988年にウィーンを訪問しており、ウィーン林業試験場のマリアブルンにも友人のDr. G. Kronfellner-Krausにつれられて2度行ったことがありました。当時は古い修道院をそのまま使っており、決してきれいとは言えませんでした。今回はユフロの理事会を開くだけあってすっかりきれいに現代風になっていて驚きました。

開会は音楽の都ウィーンらしくクラシックの音楽（Trio Amabile）で始まりました。その後、今回の理事会の日程、前回理事会の議事録承認の後、会長指名の理事4名の承認、続いて出席理事の自己紹介を行いました。さらに第20回世界大会の最終報告をSeppälä Risto副会長が行いました。午後はウィーン農科大学に移動

し、そこで、今回の理事会の主なテーマの一つであるインターネットについて Prof. David Green, Australia が、講演し、また、コンピューターの画面を二つのスクリーンに映しながら、インターネットの実演を行いました。世界に散らばるユフロの各委員・組織間の有機的な連結をはかるには、迅速・多量・同時かつ極めて安価に通信できるインターネットの活用は極めて重要であり、今回の理事会ではユフロのインターネット通信に関する Task Force 「Internet Resources, IUFRO Net」が新設され、フィンランドの Valsta Lauri 氏がその委員長に選ばれています。

会場に選ばれたウィーン農科大学には、定年退職されましたが、砂防の方ではかなり有名な教授 (Prof. Aulitzky) がおられ、日本の多くの方がお世話になりました。私も 1977 年に先生一家がインスブルックの自宅におられる夏期休暇の間、約一か月、家族 3 人をウィーン市内の公務員閉地にある Aulitzky 教授の家に預けてオーストリア、チェコ、ユーゴなどでの国際シンポジウム、地すべりと砂防の視察に行きました。当時は日本人の子供 (2才と4才) が珍しかったようで、閉地の方々に大変かわいがられました。ウィーンにはこの 8 年ほどご無沙汰していましたが、大変なつかしい町で 2 月の寒い時期でしたが楽しく過ごさせていただきました。また、夜はウィーンの比較的小さな飲み屋にて懇親会が催されました。

## 2.2 ソブロン市へ移動

2月24日(土) ウィーンからハンガリーのソブロンへバスで移動しました。ウィーンとソブロンは国境を挟んで、2時間程度と比較的近いので食事や物価の安いソブロンへ週末に移動する車が沢山あり、国境はかなり込んでいました。私は準備が悪く日本ではビザを申請してなかったので、国境でビザの申請をしました。すぐに取れると聞いていたのですが、ビザは取ってきたがコンピューターにそのデータが入っていないので確認出来ないと言うインドの理事や、台湾、中国の理事など 6 人ほどと一緒に国境で 2 時間ほど待たされました。その後、ミニバンでソブロン大学の食堂へ行き、少し遅れて昼食会に参加しました。午後 (13:50-17:20) は、ソブロン大学の本部事務局の 2 階にある会議室 (壁に、歴代の学長の写真がずらりと並んだきれいな部屋) でプログラム委員会が開かれ、過去 5 年間の事業の総括や報告がなされました。宿泊ホテル (Lover) はリゾートホテルらしく、シャワーしかなかったウィーンの Hotel Ekazent より大分いいホテルでした。



写真-1 理事会の会場となったソブロン大学の会議室壁に絵と写真が飾られ、42人の参加者が、楕円形に並んだテーブルを囲んで座りました。テーブルには所々にマイクが備え付けられ、部屋の中で記録係が討議内容をワープロに直接打ち込んでいました。

## 2.3 理事会とアジア太平洋林業機関連合について

2月25日(日) 9:00-12:00 は各部会毎の相談にあてられました。第8部会は副コーディネーターの Prof. Alain Franc (France) と Dr. Timothy Boyle (インドネシア, CIFOR) の 3 人で今後の活動について議論しました。その結果、第8部会の全体会議として 1997 年 8 月 11 日から 15 日にインドネシアのジョクジャカルタで「Forest Environment in Changing World」のテーマで、Dr. Timothy Boyle (Center for International Forestry Research: CIFOR, Indonesia) が中心となって組織することにしました。

午後は理事会 (全体会議) が開かれました。幾つか議題がありましたが、中心的なものは前会長 (Dr. Salleh, Malaysia) が提案したアジア太平洋林業研究機関連合 Asia Pacific Association of Forestry Research Institutions (APAFRI) を IUFRO の Chapter (IUFRO の一部をなす支部あるいは付属機関) として認めるかどうかでした。APAFRI は 1994 年に設立され、アジアとパシフィック (APEC と異なりアメリカ大陸は入らないようです) の林業関連の機関から会費を集めてすでに運営されています。APAFRI の件は過去の理事会で何度も議論されて来たが、これまで結論がでなかった問題だったそうです。

問題は APAFRI が IUFRO の Chapter となった時、IUFRO の会費はどうなるのか? 組織としての自治はどうするのか? すなわち IUFRO の APAFRI 参加機関への影響が減少するのか? APAFRI の地域性と IUFRO での地域代表とが一致しない点などです。種々



写真-2 会議中の理事(鈴木和夫教授撮影)  
右端より前会長 M. N. Salleh, 事務長 H. Schmutzenhofer, 副会長(プログラム) R. Seppälä, 手を挙げて話している会長 J. Burley, 副会長(総務) J. Sescio, FAO 代表 D. Hacharik

議論の後、採決され賛成多数で承認されました。今後、APAFRI と IUFRO で細部の条件などを交渉することになりました。

私自身は APAFRI についてもそれを IUFRO の支部 (Chapter) にするべきかどうかについて予備知識がなく、その是非について全く判断できませんでした。私が議論に戸惑っている様子を見てか、会長の Burley 氏は、Prof. Sassa のように新しい理事もいるので、この場で IUFRO の支部設立に関連した規約改正について議論するのは Fair ではないと言って (これは付け足しの理由でしょうが)、次回の理事会で議論することにしました。

この APAFRI の問題はヨーロッパとアジアの IUFRO 内でのイニシアチブの問題があるようでした。マレーシアの人は英語が母国語のように話せるので、Dr. Salleh はユフロのマハティール首相版と言った感じで、アジア主導の主張をしていました。しかし、韓国の代表は、APAFRI は IUFRO の分派活動的で望ましくないとの意見でした。

#### 2.4 レセプション

夜: 17:00 よりソブロン市にあるハブスブルグ家の Eszterhaza 宮殿にて「Sopron Baroque Trio」によるクラシック音楽と同じく宮殿内の石造りの狭い入り組んだ部屋でレセプションが開かれました。このレセプションの最初には、司会者がソブロン大学の学長 (IUFRO 理事会のホストでもある) の Andras Winkler 教授が歌を歌わなければ開会しないと脅して、伴奏なしで見事な歌を聞かせてくれました。ただ、食事は幾つかのテーブルに着席してコース料理を食べるものでした。しかし、

レストランではないので当然ではありますが、一通りだけなので、私たちと同席した前会長 Salleh 夫妻はイスラム教徒で食べるものがなく、前菜ばかりを頼んでドッグフードみたいとか、日本の寿司は良かったなあとか言いながら食べていました。

#### 2.5 最終日

2月26日(月)9:15より理事会が開かれ、下記の Task Forces とそのコーディネーターを次の通り決めました。

1. Environmental Change  
J. Innes, Switzerland
2. International Relations  
R. Guevara, Costa Rica
3. Internet Resources  
L. Valsta, Finland
4. Forest and Mountain Development  
M. Price, UK
5. Sustainable Forest Management  
D. Dykstra, Indonesia

また、Special Programme for Developing Countries のコーディネーターには Robert Szaro (米国) が選ばれました。

そして今後の理事会の日程を下記のように決めました。

理事会:

- 1996年12月 6-12日 南アフリカ
- 1997年 9月 19-25日 ロシア
- 1998年 9月 4-10日 コスタリカ
- 1999年 9月 24-30日 ワシントン DC, 米国
- 2000年 3月 10-16日 エジプト/イスラエル
- 2000年 8月 4-6日 マレーシア (第21回ユフロ世界大会)

その他、IUFRO の参加機関が 23 増え、特に韓国からは新規に 19 機関の加入があったことや、2000年の世界大会の準備状況、SPDC、FAO など関連機関の活動報告他がなされました。また、ハンガリーの森林についてソブロン大学教授の講演も予定されていましたが、14:30まで出席して、FAO の David Hacharik 氏やコスタリカの Guevara Ruben 氏 (毎年、日本に来ているとのこと)、鈴木和夫先生夫妻などと事務局で用意してくれたミニバンでウィーンに向かいました。Hacharik 氏の乗るローマ行きの飛行機は 17:00 発とのことで、国境で引っかければ間に合わないかと思っていましたが、出国の時は極めて簡単で、車の後ろの席からパスポートの表紙を見せるだけでバスでした。

### 3. ユフロ会長 Burley 教授について

Burley 教授はオックスフォード大学の教授でいかにも学者と言った雰囲気であり、かつ気さくでウイットにとみ、良く気の利いた冗談を言われます。ソブロン大学の昼食の際や庭で何度か話をさせていただき、また、最終日に理事会の途中で退席になったので挨拶に行き、ユフロの理事会は初めてだったけれど大変おもしろかったと述べると、これからもっとおもしろくなるよ、来てくれてありがとうと感謝されました。また、奥さんも極めて英国人的な顔立ちで、いつもかざらない質素な服装をされ、知的で魅力的な方でした。私の家内が、Burley 夫人に娘のことを話した内容を教授がすべて知っていたのも驚きでした。ユフロでは防災分科会の Kronfellner-Kraus 氏（オーストリア）、Raymond Rice 氏（米国）などすばらしい人と知り合えましたが、お二人とも退官され寂しい気持ちがありました。しかし、タンペレについて今回 Burley 教授にお会いしてユフロの魅力が増えた感じがしています。

### 4. ユフロ第8部会「Forest Environment」

この場をお借りして、新設の第8部会について紹介させていただきます。この部会は旧第1部会「Forest Environment and Silviculture」の Forest Environment に関するサブジェクトグループとプロジェクトグループが一つの部会として独立したもので、次の分科会から成ります。

- 8.01 Ecosystems
- 8.02 Site
- 8.03 Environmental Influences
- 8.04 Natural Disasters

- 8.05 Forest Fire Research
- 8.06 Wildlife and its Habitats
- 8.07 Biodiversity

現在、Ecosystems のコーディネーターが決まらず、空席になっています。また、8.04 と 8.03 を除くと日本人の役員はほとんどおられないので、より多くの日本の方が参加下さるようお願いいたします。また、第8部会では、次の2000年の大会までに第8部会の全体会議を計画しています。まだ詳細は決まっていますが、次の通りです。日本から多くの方がご参加くださるようお願いいたします。

ユフロ第8部会全体会議 (Divisional Meeting)

日 時：1997年8月11日-15日

場 所：インドネシア国ジョグジャカルタ市

テーマ：Forest Environment in Changing World

上記の7つの分科会ごとに7つのセッションと1つのビジネスミーティング、また会期中に Field Trip を1日とる予定です。

連絡：Timothy Boyle

Center for International Forestry Research

FAX: 62-251-326433, E-mail: t.boyle@cgnet.com

日本での問い合わせ：

京都大学防災研究所地盤災害部門 佐々恭二

電話 0774-32-0789, FAX: 0774-32-5597, E-mail: sassa@scl.kyoto-u.ac.jp

最後にこの理事会出席にあたり、(財)林業科学技術振興所よりユフロ活動協力助成金として旅費の一部を援助していただきましたことお礼申し上げます。また、一緒に会議に参加させていただき、色々とお世話になった東京大学の鈴木和夫教授に感謝いたします。

### <IUFRO-J News への寄稿のお願い>

会員の皆様のご協力により「IUFRO-J News」の発行も順調に進んで参りました。これからもニュースの内容を充実させるために、IUFROの研究集会などの開催予定や参加した集会の内容紹介など、会員に広く知らせたい事柄について記事をお寄せください。また、研究集会などに参加予定、または参加された方を紹介いただければ、事務局から執筆のお願いをすることもできます。会員相互の情報交換の場として「IUFRO-J News」をどうぞご活用ください。

(事務局)

## 平成7年度ユフロ-J 機関代表会議報告

表記の会議が、日本林学会大会期間中の4月3日、筑波大学生物農林学系棟において開催された。出席者はA会員22機関、B会員6機関からの合計28名であった。なお今回の会議には、今年から新たにIUFRO本部の理事に就任した京大防災研の佐々教授が、さる2月に開催された本部の拡大理事会の紹介のために出席した。

<議事>

### 1. 平成7年度事業報告

事務局よりIUFRO-J Newsの発行と会員の現況が下記のように報告された。

#### 1) IUFRO-J Newsの発行

No. 55, No. 56 (世界大会特集), No. 57 (世界大会特集), 各1300部

#### 2) 会員の現況 (H8.3.31現在)

A会員 32機関 915名 (前年度より14名減)

B会員 18機関 2411 (変わらず)

C会員 34名 (前年度より9名増)

### 2. 平成7年度会計報告 (別掲のとおり)

#### 1) 一般会計収支決算報告

#### 2) 特別会計収支決算報告

#### 3) 会計監査報告

### 監査報告書

平成7年度ユフロ-J事業会計について監査を実施した結果、各種帳簿並びに証拠書類はいずれも、正確に整理・記録されており、本件経理は適正であったことを認める。

平成8年4月1日

ユフロ-J 監事

日本林業技術協会 専務理事

小 泉 孟 印

### 3. 平成8年度事業計画案

#### 1) IUFRO-J Newsの発行

事務局より例年通り10~16ページ立て3回の発行が提案され、承認された。

#### 4. 平成8年度予算案 (別掲のとおり)

事務局より一般会計の予算案が示され、承認された。

#### 5. その他

① 事務局から、IUFRO本部役員の任期満了に伴い、1996年1月より新理事として佐々恭二氏 (Div. 8コーディネーター, 京大防災研), 新副理事として鈴木和夫氏 (Div. 7副コーディネーター, 東大農学部) が就任したこと, また新評議員として前理事の佐々木忠彦氏 (前東大農学部), 評議員代理として鈴木和夫氏が日本の加盟機関から推薦され、2月に開かれた理事会で承認されたことが紹介された。

② 次に、佐々氏から2月に開催された拡大理事会の様子について紹介がなされた (詳しくは、本号巻頭記事のとおり)。

③ また森林総研の池田俊弥氏から、1995年2月に設立が決定された、アジア・太平洋林業研究機関連合 (APAFRI, Asia-Pacific Association of Forestry Research Institutions) の準備実行委員会のその後の活動経過の紹介がなされた。特に APAFRI の設立に関しては、前回の IUFRO の理事会において、IUFRO の Regional Chapter (地域支部) としての機能を合わせ持つ組織として承認され、これをうけて APAFRI の今後の活動がより幅広いものになっていくとみられること、また現在までに CIFOR など 17 機関が加盟手続きを済ませている (日本からは森林総研が加盟。他にいくつかの大学が加盟を予定している) ことなどが紹介された。

## 平成7年度一般会計決算

## (収入の部)

科 目	予 算 額	決 算	備 考
前年度繰越金	1,345,702	1,345,702	
会 費			
6年度未収分	38,000	32,000	
7年度会費	1,074,000	1,007,000	
A会費	929,000	875,000	
B会費	120,000	100,000	
C会費	25,000	32,000	
雑 収 入	2,000	1,546	
合 計	2,459,702	2,386,248	

## (支出の部)

科 目	予 算 額	決 算	備 考
情 報 活 動 費	700,000	733,566	
会 議 費	60,000	60,000	
旅 費	600,000	0	
雑 費	50,000	10,865	
次年度へ繰越	1,009,702	1,581,817	
合 計	2,459,702	2,386,248	

## 平成7年度特別会計決算

## (収入の部)

科 目	予 算 額	決 算	備 考
前年度繰り越し	3,652,652	3,652,652	
定期預金利子	88,000	67,323	
合 計	3,740,652	3,719,975	

## (支出の部)

科 目	予 算 額	決 算	備 考
世界大会助成金		1,320,000	44名分
払い込み手数料		28,222	
小 計		1,348,222	
次年度繰り越し		2,371,753	
合 計		3,719,975	

## 平成8年度一般会計予算案

## (収入の部)

科 目	予 算 額
前年度繰越金	1,581,817
会 費	
7年度未収分	50,000
8年度会費	1,069,000
A会費	915,000
B会費	120,000
C会費	34,000
雑収入	1,500
合 計	2,702,317

## (支出の部)

科 目	予 算 額
情報活動費	750,000
会議費	60,000
旅 費	600,000
雑 費	20,000
予 備 費	1,272,317
合 計	2,702,317

## 平成8年度特別会計予算案

## (収入の部)

科 目	予 算 額
繰り越し金	2,371,753
預金利息	40,000
合 計	2,411,753

## これからの研究集会予定 (IUFRO インターネットホームページより, 1996.5.30 現在)

## IUFRO 研究集会

## Division 1 造林

1.05.00 (森林の造成, 施業, 改良); 1.08.00; 1.07.00; 1.10.00 (P1.10.00); 4.01.00; 4.11.00: Modelling Regeneration Success and Early Growth of Forest Stands (林地更新と初期成長のモデリング)/Jun 10-13 1996, Copenhagen, Denmark

1.14.03 (熱帯の二次林および劣化した林地の修復); The World Bank; USDA Forest Service; CIFOR; ODA: Accelerating Native Forest Regeneration on Degraded Tropical Lands (熱帯荒地における天然更新の促進)/Jun 11-14 1996, Washington DC, USA

1.05.16 (ヨーロッパシルバーファーマーの生態と育林): 8th Silver Fir Symposium (第8回シルバーファーマーシンポジウム)/Sep 22-29 1996 (新), Jundola, Bulgaria

1.17.00 (劣化した林地の復元); 1.17.04 (乾燥地および半乾燥地の修復): Afforestation and Silviculture in Arid Lands (乾燥地における造林)/Oct 21-25 1996 (新), Santiago and La Serena, Chile

1.07.00 (熱帯造林); 4.02.03 (継続的森林資源調査): Growth Studies in Tropical Moist Forests in Africa (アフリカの湿潤熱帯林の林分成長)/Nov 12-14 1996 (新), Kumasi, Ghana

1.07.00 (熱帯造林); 4.02.00 (森林資源調査とモニタリング); ISTF: Tropical Forestry in the 21st Century (21世紀の熱帯林業)/Nov 25-29 1996 (新), Bangkok, Thailand

1.07.00 (熱帯造林): Ecology and Management of Neotropical Secondary Forests (新熱帯区における二次林の生態と経営)/? 1997 (新), Latin America

1.06.00 (オークの改良と育林): Workshop on Improvement and Silviculture of Oak (オークの改善と造林に関するワークショップ)/Jul 28-30 1997 (新), Freiburg, Germany

1.12.00 (P1.14-00) (択伐林・異齡林): Uneven aged Silviculture Workshop-Field Tour (異齡林の育林に関するワークショップー現地見学)/Sep 1997, Pacific Northwest, North America

## Division 2 生理および遺伝

2.02.00 (産地, 育種, 遺伝資源): Genetics and Breeding in Forest Service (フォレストサービスにおける遺伝学と育種)/Jun 28-29 1996, Voronezh, Russian Federation

2.04.01 (個体群・生態遺伝学); 7.04.04 (大気汚染と気候変動の遺伝学的側面): Diversity and Adaptation in Forest Ecosystems in a Changing World (森林生態系の多様性と適応)/Aug 5-8 1996, Vancouver BC, Canada

2.01.10 (木質部の生理学): Physiological Aspects of Xylogenesis in Conifers (針葉樹の木質部の生理学)/Aug 6-10 1996, Krasnoyarsk, Russia

2.08.04 (ポプラとヤナギの育種と遺伝資源); Willows Wood Quality and Breeding Genetic Resources and Safety Measures in Germplasm Exchanges: Meeting of Working Parties on the Occasion of the 20th Session of the Int. Poplar Commission (国際ポプラ委員会第20回総会ワーキングパーティーミーティング)/Oct 1-4 1996, Budapest, Hungary

2.08.01 (S2.02-08) (熱帯樹種の産地と育種): Tree Improvement for Sustainable Tropical Forestry (post-conf. tour) (持続可能な熱帯林業のための林木改良)/Oct 27-Nov 1 (Nov 8) 1996, Caloundra, Queensland, Australia

2.04.07 (体細胞遺伝学); 2.04.06 (森林樹木の分子遺伝学): Molecular Genetics of Forest Trees and Somatic Cell Genetics (樹木の分子遺伝学および体細胞遺伝学)/Aug 13-16 1997, Quebec, Canada

2.08-05 (S2.02-22) (Quercusの遺伝学): Genetics of Oaks (オークの遺伝学)/Oct 12-17 1997, State College Pennsylvania, USA

2.08.03 (ユーカリの改良と培養): Silviculture and Genetic Improvement of Eucalypts (ユーカリの造林と遺伝的改良)/Sep 1997, Curitiba, Brazil

S2.02.19 (ラジアータパインの産地と育種): Pinus radiata Breeding and Genetic Resources (ラジアータパインの品種改良と遺伝資源)/Nov 17-19 1997, Rotorua, New Zealand



## Division 3 森林作業と技術

Div 3, Joint FAO/ECE/ILO Committee on Forest Technology and Management : Seminar on Environmentally Sound Forest Roads and Wood Transport (環境にやさしい林道と木材輸送に関するセミナー)/Jun 17-22 1996, Sinaia, Romania

3.07.00 (P3.03-00) (労働科学) ; FAO/ECE/ILO : Harvesting and Training (伐採と訓練)/? 1997 (新), Italy

3.04.00 (作業計画と管理; 作業研究) ; Work Study Council on Forest Engineering : Planning and Implementing Forest Operations to Achieve Sustainable Forests (持続可能な森林経営のための森林作業の計画と実行)/Jul 29-Aug 1 1996, Marquette, MI, USA

3.07.00 (P3.03-00) (労働科学) : Ergonomic Research Methods, Mechanisation and Workforce Advancement (生物工学研究の方法, 手法と技術者の向上)/Aug 18-23 1996 (新), Garpenberg, Sweden

3.02.00 (造林・保育作業法) ; S3.02.03 (苗畑作業) ; S3.02.01 (造林作業) : Nursery and Establishment Operations for Difficult Sites (困難な立地環境下の苗畑と造成作業)/Oct 6-12 1996, Solan, Himachal Pradesh, India

FAO/ECE/ILO ; 3.07.00 (P3.03.00) (労働科学) : Safety and Health in Forestry are Feasible (林業における安全と健康)/Oct 7-11 1996 (新), Castle of Hürigen, Switzerland

3.07.00 (P3.03-00) (労働科学) : Forestry in International Perspective (国際的視点から見た林業)/? 1996 (新), Quebec City Canada

3.07.00 (P3.03-00) (労働科学) ; S3.06.00 : Roadbuilding, Harvesting and Transport in the Himalaya Area (ヒマラヤ地域における道路建設, 伐採および運送)/? 1997 (新), Peshawar, Pakistan

3.07.00 (P3.03-00) (労働科学) ; S3.06.00 ; 3.11.00 (P3.08-00) ; FAO : Forestry Work (林業労働)/? 1997 (新), Concepción, Chile

FAO/ECE/ILO ; 3.07.00 (P3.03-00) (労働科学) ; S3.04.02 : Working Conditions and Increasing Profit (作業環境と収益の増加)/? 1997 (新), Eastern Europe

3.07.00 (P3.03-00) (労働科学) ; ELMIA ; FAO/ECE/

ILO : Thinning, Costs and Environmental Impact (間伐, 費用および環境に対するインパクト)/? 1997 (新), Sweden

All Division 3 : Division 3 mid-term meeting (Division 3 中間ミーティング)/May (?) 1997 (新), Taiwan

Division 4 資源調査, 成長, 収穫, 計量および経営科学

S4.01.00 (測定, 成長および収穫量) ; 1.05.00 ; 1.08.00 (P1.06.00) ; 1.07.00 ; 1.10.00 ; 4.11.00 : Modelling Regeneration Success and Early Growth of Forest Stands (林地の更新と初期成長のモデリング)/Jun 10-13 1996, Copenhagen, Denmark

4.13.00 (経営, 社会および環境勘定) : Non-Market Benefits of Forests (森林の非市場的便益)/Jun 23-29 1996 (新), Edinburgh, U.K.

4.11.00 (統計手法, 数学, コンピューター) : Forest Models with Reference to Statistical Methods (統計的方法から見た森林モデル)/Aug 1996 (新), Moscow, Russia

4.12.00 (リモートセンシング技術) : Working Party Meeting : Contribution of Remote Sensing to Assess Biodiversity of Forests (ワーキングパーティーミーティング, 森林の多様性評価におけるリモートセンシングの貢献)/Jul 16 1996, Vienna, Austria

4.01.00 (測定, 成長および収穫量) : Effects of Environmental Factors on Tree & Stand Growth (樹木と林分成長に対する環境要因の影響)/Sep 23-27 1996, Dresden, Saxony, Germany

Divisions 4 and 6, SPDC, All-Russian Research Institute of Silviculture & Forest Mechanization, Federal Forest Service of Russia, USDA FS : Planning and Decision Making for Sustainable Forest Uses (持続可能な森林利用のための計画と意思決定)/Sep 23-29 1996, Pushkino, Moscow, Russia

4.02.01 (熱帯における資源データ) ; DNAES, India ; ISTF, USA : Resource Inventory Techniques to Support Agroforestry and Environment (アグロフォレストリーのための資源調査技術)/Oct 1-3 1996 (新), Chandigarh, India

S4.02.00 (森林資源調査とモニタリング) ; 4.11.00 ; 6.12.01 : Assessment of Biodiversity for Improved Forest Planning (森林計画の改善のための生物多様

- 性の評価)/Oct 7-11 1996 (新), Monte Verità, Ascona Switzerland
- S4.02.00 (森林資源調査とモニタリング); and others : Assessment and Monitoring of Forests in Tropical Dry Regions (熱帯乾燥地域の森林の評価とモニタリング)/Nov 4-7 1996, Brasilia, Brazil
- 1.07.00 (熱帯造林); 4.02.03 (継続的森林資源調査) : Growth Studies in Tropical Moist Forests in Africa (アフリカの湿潤熱帯林の林分成長)/Nov 12-14 1996 (新), Kumasi, Ghana
- 4.02.00 (森林資源調査とモニタリング); 1.07.00 (熱帯造林); ISTF : Tropical Forestry in the 21st Century (21世紀における熱帯林業)/Nov 25-29 1996 (新), Bangkok, Thailand
- 4.02.02 (多目的資源調査) : How to Gather, Evaluate, and Use Ethnobiological Data (民族生物学的データの収集, 評価, 利用法)/Date to be Decided 1996 (新), Thailand
- 4.02.00 (森林資源調査とモニタリング) : Remote Sensing Support for Global Resources Assessment for the Year 2000 and Beyond (2000年とさらにその先を目指した地球規模の資源評価のためのリモートセンシング)/? 1997 (新), ?
- 4.02.03 (継続的森林資源調査) : Availability and Use of Permanent Plot Data in West Africa (西アフリカにおける永久プロットデータの入手可能性と利用)/? 1997 (新), Ghana (?)
- 4.02.00 (森林資源調査とモニタリング) : Urban Forest Inventory and Planning (都市林の資源調査と計画)/Mar or Feb 1997 (新), ?
- 4.01.00 (測定, 成長および収穫量) : Modelling Growth of Fast-grown tree Species (早生樹の成長のモデリング)/Mar planned 1997, Valdivia, Chile
- Division 5 森林産物
- 5.04.06 (木材乾燥) : Quality Wood Drying Through Process Modelling and Novel Technologies (加工過程のモデリングおよび新技術を用いた高品質材の乾燥)/Aug 13-17 1996, Quebec City, Canada,
- 5.01.04 (木材特性の物質的改良) : Connection between Silviculture and Wood Quality through Modelling Approaches and Simulat. Softwares (モデリングとシミュレーションによる育林と材質の連結)/Aug 24-Sep 1 1996, Kruger National Park, South Africa
- 5.01.00 (材質) : Afro-European Regional Wood Anatomy Meeting (アフリカヨーロッパ地域の木材組織ミーティング)/Oct 2-4 1996, Kew, London, U.K.
- P5.07-02 (薬用・香料植物) : Int'l Workshop of Medicinal Plants (薬用植物に関する国際研究集会)/Nov 4-9 1996 (新), Nauni, Solan, India
- All-Division 5 Conference : Forest Products for Sustainable Forestry (持続可能な林業のための森林産物)/July 7-12 1997, Pullman, Washington, USA
- Division 6 社会, 経済, 情報および政策科学
- 6.06.04 (造林学の教育および研究) : Meeting of Silviculture Professors (造林学教授の集会)/Sep 4-9 1996, Portugal, Spain
- Divisions 4 and 6, SPDC, All-Russian Research Institute of Silviculture & Forest Mechan. Federal FS Russia, USDA FS : Planning and Decision Making for Sustainable Forest Uses (持続可能な森林利用のための計画と意思決定)/Sep 23-29 1996, Pushkino, Moscow, Russia
- 6.06.03 (普及) : Approaches to Extension in Forestry Experiences and Future Developments (林業における普及アプローチ, 経験と未来)/Sep 30-Oct 4 1996 (新), Munich/Freising, Germany
- 6.12.01; 4.02.00; 4.11.00; ETH, WSL, EFI : Assessment of and the Planning for Biodiversity (生物多様性に関する評価と計画)/Oct 7-11 1996, Monte Verità, Switzerland
- Division 7 森林の健全性
- 2.04.01 (個体群・生態遺伝学); 7.04.04 (大気汚染と気候変動の遺伝学的側面) : Diversity and Adaptation in Forest Ecosystems in a Changing World (森林生態系の多様性と適応)/Aug 5-8 1996, Vancouver, BC, Canada
- 7.03.06 (S2.07.11) (枯葉性森林昆虫の総合管理); 7.03.07 (S2.07-06) (森林昆虫の個体群動態) : Population Dynamics, Impacts, and Integrated Management of Forest Defoliating Insects (枯葉性森林昆虫の個体群動態, 影響および総合管理)/Aug 18-23 1996, Banska, Stiavnika, Slovak Republic
- 7.03.02 (S2.07-08) (更新に影響を与える昆虫); 7.03.05 (S2.07-05) (キクイムシの総合防除); 7.03.07 (S2.07-06) (森林昆虫の個体群動態) : Joint Working Party Meeting (ジョイントワーキングパーティーミーティング)/Sep 1-3 1996, Vallombrosa, near Florence,

- Italy
- 7.03.01 (S2.07-01) (球果・種子害虫): 5th Working Party Conference (第5回ワーキングパーティーミーティング)/Sep 2-7 1996, Bondone, Trento, Italy
- 7.04.00 (P2.05-00) (大気汚染の森林生態系に与える影響): Stress Factors and Air Pollution (ストレス要因と大気汚染)/Sep 14-19 1996, Florence, Italy
- S7.02-06 (former WP S2.06-14) (複合病): Workshop on complex diseases of conifers and broadleaved trees (針葉樹および広葉樹のコンプレックス病害)/Nov 1996, Vienna, Austria
- S7.03.00 (S2.07-00) (昆虫学): Pests of Forest Trees of Rapid Growth, with emphasis on Pinus and Eucalyptus (早生樹とくにパインとユーカリの害虫)/Nov 11-16 1996 (planned), Pucon, Chile
- S7.02-01 (S2.06-01) (根腐れ・根株腐朽病): Ninth Conference on Root and Butt Rots (第9回根茎と根株の腐朽に関する集会)/Aug 31 or-Sep 8 1997, Nancy or Bordeaux, France
- S7.02.02 (former S2.06-02 and S2.06-04) (葉および新芽の病害): Working Party Meeting (ワーキングパーティーミーティング)/? 1997, Newfoundland, Canada
- Division 8 森林環境
- European Forestry Commission Working Party on the Management of Mountain Watersheds; 8.04.00 (S1.04.00) (自然災害): Management of Mountain Watersheds, incl. FAO/IUFRO Symposium on Prevention of Natural Disasters (山岳流域管理, 自然災害の防止に関するFAO/IUFROシンポジウムを含む)/Jul 1-5 (10) 1996, Lillehammer, Norway
- Co-sponsored by IUFRO, CABI, IUBS, UNEP, IUCN: Workshop on Biodiversity Information (生物多様性の情報に関するシンポジウム)/Jul 15-16 1996, London, U.K.
- 8.01.02 (S1.01-05) (ランドスケープエコロジー): Applications of Landscape Ecology in Forestry (林業におけるランドスケープエコロジーの適用)/Oct 2-4 1996, Corvallis, Oregon, USA
- Other Meetings その他集会
- CIFOR: Silvicultural Practice and Research for Natural Forest Management in the American Tropics (熱帯アメリカにおける天然林管理のための育林作業と研究)/Jun 17-21 1996, Pucallpa, Peru
- European Forest Institute: Conflict Management and Public Participation in Land Management (土地管理における経営と住民参加の対立)/Jun 16-20 1996, Joensuu, Finland
- Agora Communications: 14th North American Forest Biology Workshop on Forest Management Impacts on Ecosystem Processes (第14回北アメリカ森林生物学ワークショップ, 生態系に対する森林管理の影響)/Jun 16-20 1996, Quebec City, Canada
- FAO: Technical Conference on Plant Genetic Resources (植物遺伝資源に関するテクニカル会合)/Jun 17-23 1996, Leipzig, Germany
- Forestry Commission: Non-Market Benefits of Forestry (林業の非市場的便益)/Jun 23-29 1996, Edinburgh, U.K.
- Oxford Forestry Institute: Making Forest Policy Work (Oxford Summer Course) (森林政策の実効化)/Jul 1-26 1996, Oxford, U.K.
- Int'l Society of Root Research: 5th ISSR Symposium on Root Demographics (第5回ISSRシンポジウム)/Jul 13-18 1996, Clemson, USA
- Elsevier Science: Ecological Summer Summit '96 (エコロジカルサマーサミット'96)/Aug 19-23 1996, Copenhagen, Denmark
- CSIRO, QDPI Forestry & Oxford University Department of Zoology: International Workshop on Hypsipyla Shoot Borers of Meliaceae (センダンのHypsipylaシュートボラに関する国際ワークショップ)/Aug 20-23 1996 (新), Kandy, Sri Lanka
- Federal Forest Service of Russia, IBFRA; International Boreal Forest Research Association: Sustainable Development of Boreal Forests (北方針葉樹林の持続可能な開発)/Aug 19-23 1996 (新), St Petersburg, Russian Federation
- Institute of Applied Ecology, Chinese Academy of Sciences: Resources, Environment & Sustainable Development (RESD) (資源, 環境および持続可能な開発)/Aug 22-29 1996 (新), Shenyang, P.R. China
- International Soil Conservation Organization (ISCO): Towards Sustainable Land Use-Furthering Cooperation between People and Institutions, 9th Con-

ference of the ISCO (第9回 ISCO 会議, 持続可能な土地利用を目指して)/Aug 26-30 1996 (新), Bonn, Germany

University of Nottingham : British Ecological Society-meeting on Forest and Woodland History (英国生態学会—森林および林地の歴史に関するミーティング)/Sep 2-6 1996 (新), ?

World Heritage Tropical Forest Conference : World Heritage Tropical Forest Conference : Science for Better Management and Understanding (世界遺産としての熱帯林会議: より良き理解と管理のための科学の役割)/Sep 2-6 1996 (新), Cairns, Queensland, Australia

CSIRO Division of Forestry & Forest Products : Australian Forest Growers Conference (オーストラリア森林育成者会議)/Sep 9-12 1996 (新), Mount Gambier, South Africa

Institute of Ecology and Environmental Management -IEEM : IEEM Annual Conference on Biodiversity from Politics to Practice (IEEM 生物多様性に関する会議, 政策から実行に向けて)/Sep 19-20 1996 (新), ?

IPC/FAO : 20th Session of the international Poplar Commission (国際ポプラ委員会第20回総会)/Oct 1-4 1996 (新), Budapest, Hungary

Swiss Federal Institute for Forest, Snow and landscape Research (WSL) : Assessment of Biodiversity for Improved Forest Planning (森林計画の改善のための生物多様性の評価)/Oct 7-11 1996 (新), Monte Verità, Switzerland

IUCN The World Conservation Union : World Conservation Congress (世界保全会議)/Oct 13-23 1996 (新), Montreal, Canada

International Institute of Tropical Forestry : Big-Leaf Mahogany : Ecology & Management (大葉マホガニー: 生態と管理)/Oct 21-25 1996 (新), San Juan, Puerto Rico

GEF, Turkish Ministries of Agriculture and Rural Affairs, Forestry & Environment : In situ Conservation of Plant Genetic Diversity (植物遺伝子の多様性の In situ 保全)/Nov 4-8 1996 (新), Antalya, Turkey

Hellenic Forestry Society : Multiple Use of Resinifer-

ous Forests (樹脂採取林の多目的利用)/May (?) 1997 (新), Thessaloniki, Greece

The Standing Committee on Commonwealth Forestry : 15th Commonwealth Forestry Conference (第15回連邦林業会議)/May 12-17 1997 (新), Victoria Falls, Zimbabwe

National Board of Forestry, Skogforsk ; Swedish University of Agricultural Sciences : Biodiversity in Managed Forests (管理された森林の生物多様性)/May 29-31 1997 (新), Uppsala, Sweden

## 「森林と環境に関する国際シンポジウム」のお知らせ

期間：1996年11月4日～6日

会場：南京林業大学

標記の国際シンポジウムが中国の南京市で開催されます。主催機関は南京林業大学、英国生物科学センター、東京農工大学です。テーマは「生物種の多様性と保護」と「環境、公害と生態系」に大別され、現在のところ、約50件の発表が予定されています。中国の林業研究の

国際化の中で注目される研究集会です。参加費は250ドル、現在セカンドサーキュラーが入手可能です。集会の後に6日間の国内見学旅行が予定されています。参加申し込み・問い合わせ先は下記のとおりです。

Li Rongsheng Secretariat, ISFE  
Nanjing 210037, P.R. China  
FAX/TEL +86 25 5412389

## 「持続可能な私有林経営に関する国際シンポジウム」のお知らせ

期間：1997年9月8日～13日

会場：京都市国際交流会館

表記の国際シンポジウムが、来年9月に京都市で開催されます。主催機関は京都大学大学院農学研究科、日本林業経済学会、日本林学会、IUFRO Project Group P. 3.04-00 (小規模林業)、IUFRO Working Party S.6.11-02 (先進国の林業・山村振興)です。「持続可能な私有林経営」をメインテーマとして、パネルディスカッション、個別発表、見学旅行(2日間)が予定されております。現在、ファーストサーキュラーが配布されております。問

い合わせ・参加申込先は下記のとおりです。

IUFRO SYMPOSIUM in KYOTO 1997 組織委員会事務局

〒606-01 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院農学研究科 森林・林業政策  
学研究室  
責任者 大田 伊久雄  
TEL. 075-753-6183  
FAX. 075-753-6191

## ユフロ活動協力基金運営委員会からのお知らせ

平成8年度ユフロ活動協力基金運営委員会が平成8年4月24日に日本林業技術協会会議室において開催されました。この運営委員会での協議事項の概要について報告いたします。

1 平成7年度ユフロ活動協力基金助成結果について

1) 第20回世界大会(フィンランド)への助成者数と助成額

当初の助成対象者は10名でしたが途中で2名の方が辞退されましたので、平成7年度における助成決定者は

8名となりました。これらの方々には総額850,000円を助成いたしました。

2) ユフロ理事会メンバーへの出席助成結果について  
第32回理事会出席(フィンランド)1名、第34回理事会出席(オーストリア、ハンガリー)2名で、総額350,000円を助成いたしました。

2 ユフロ活動協力基金の今後の助成について

ユフロ活動協力基金の助成募集は、基金の運用益の低下のため、当分の間、行えない状況です。

## 国際林業研究機関連合一日本委員会会則

### (名称と目的)

第1条 本会は、国際林業研究機関連合一日本委員会（略称をIUFRO-Jとする）と称し、国際林業研究機関連合（以下IUFROと呼ぶ）の目的に沿って、その事業に協力するため、国内の林業・林産業に関連する研究機関の相互連携を図るとともに、IUFROに関連する諸活動に貢献することを目的とする。

### (業務)

第2条 本会は、前条の目的を達成するため次の業務を行う。

1. わが国におけるIUFRO加盟機関相互の情報交換の推進および連絡調整
2. IUFRO評議員会への代表および代理の決定
3. IUFROが組織する研究グループ活動の支援
4. その他本会の目的達成に必要な事項

### (事務局)

第3条 本会は、事務局を、茨城県稲敷郡葦崎町松の里1 森林総合研究所内におく。

### (会員)

第4条 本会の会員は、次の4種とする。

1. A 会員 IUFRO加盟機関
2. B 会員 IUFROに加盟していないが、本会の趣旨に賛同する林業研究機関
3. C 会員 A、B会員の機関に所属していないが、本会の趣旨に賛同する個人
4. 賛助会員 本会の趣旨に賛同する機関または団体

### (機関会員の研究者登録)

第5条 A、B会員に所属し本会の趣旨に賛同する研究者は、本会に登録するものとする。

登録研究者に移動のあった場合は、その都度事務局に連絡する。

### (会費および会計)

第6条 会費は次のとおりとし、毎年度のはじめに納入するものとする。A、B会員の会費は、当該年度4月1日におけるその機関の登録研究者数に応じた額（1人当たり年額1,000円）とする。ただしB会員については、定額制（年額1口5,000円を1口以上）をとることもできる。C会員の会費は、年額1,000円とする。賛助会員の会費は年額1口10,000円を1口以上とする。

第7条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第8条 本会の予算および決算は、機関代表会議に提出して、その承認を受けるものとする。

### (役員)

第9条 本会に、次の役員をおく。

- |    |                  |
|----|------------------|
| 議長 | 1名               |
| 幹事 | 若干名（うち1名を幹事長とする） |
| 監事 | 2名               |
| 主事 | 1名               |

第10条 議長は本会を代表し、会務を総括する。幹事は、会務執行に関する事項を審議し、幹事長は会務を執行するとともに議長を補佐し、議長にさしつかえあるときはその職務を代理する。監事は、会計および会務執行の状況を監査する。主事は幹事長の職務を補佐する。

第11条 役員を選出方法は、次のとおりとする。

議長、幹事および監事は、機関代表会議で選出し、幹事長は、幹事の互選とする。主事は議長が委嘱する。

第12条 役員任期は、2ヶ年とし、再任を妨げない。任期中に欠員のできた場合は幹事会において選出し、次期機関代表会議で承認をえるものとする。欠員を補充するために選出された役員任期は前任者の任期の残りの期間とする。

### (会議)

第13条 会議は、機関代表会議および幹事会とする。

第14条 機関代表会議は、A、B会員それぞれの機関で選ばれた代表（1名）で構成する。通常毎年度頭初に開くこととし議長が召集する。機関代表会議では、会務報告、予算、決算の承認、第2条2項等会の重要事項を審議決定する。

第15条 幹事会は、議長および幹事をもって構成し、議長が召集する。幹事会には、議長の指名する者を参加させることができる。

### (その他)

第16条 本会々則の変更および本会に関する重要事項は、機関代表会議で決める。

- 付則 1) 各機関に連絡員をおき事務局に登録する。  
2) 本会則は昭和54年4月7日より施行する。

IUFRO-J News No. 58

平成8年7月8日

国際林業研究機関連合一日本委員会事務局

茨城県稲敷郡葦崎町松の里1 森林総合研究所内

TEL 0298-73-3211 (232)

〔編集・発行〕